



What's New

2008 新機能ガイド

VectorWorksはさらに進化しました。

魅力的な製品ライナップで、デザインスタイルにあった製品が選択できます。際立つツールアイコンや見直された各機能、拡充したライブラリによって、デザインも作業効率も格段に向上します。

2008と共にあなたのデザインは、新たな領域へ。

VectorWorks 2008

VectorWorks What's New

What's New in 2008

- 1 際立つ新インターフェイス
- 2 拡張されたオペレーションフィーリング
- 3 見直された各ツール/コマンド
- 4 向上したデザインマネージメント機能
- 5 驚くようなプレゼンテーション
- 6 充実したデザインリソース

新製品ラインナップ

VectorWorks Designer with RenderWorks 2008

ベクターワークス デザイナー ウイズ レンダーワークス 2008 (VectorWorksDX + RenderWorks後継ソフト)

VectorWorks Designer 2008

ベクターワークス デザイナー 2008 (VectorWorksDX後継ソフト)

VectorWorks Fundamentals with RenderWorks 2008

ベクターワークス ファンダメンタルズ ウイズ レンダーワークス 2008 (VectorWorks + RenderWorks後継ソフト)

VectorWorks Fundamentals 2008

ベクターワークス ファンダメンタルズ 2008 (VectorWorks後継ソフト)



1- 際立つ新インターフェイス

モダンアイコン

[DR/D/FR/F]

VectorWorksのアイコンは、全て新しくなりました。目を引くモダンアイコンは、これまで以上にデザイン作業を楽しめます。

表示バー

[DR/D/FR/F]

画面上部には、データ表示バーに代わり「表示バー」が配置されました。表示バーでは従来、ウィンドウ左下にあったショートカットバーの機能を集約し、クラス、レイヤ、登録画面、縮尺、レンダリングなど表示に関する機能を利用できます。

ツールバー

[DR/D/FR/F]

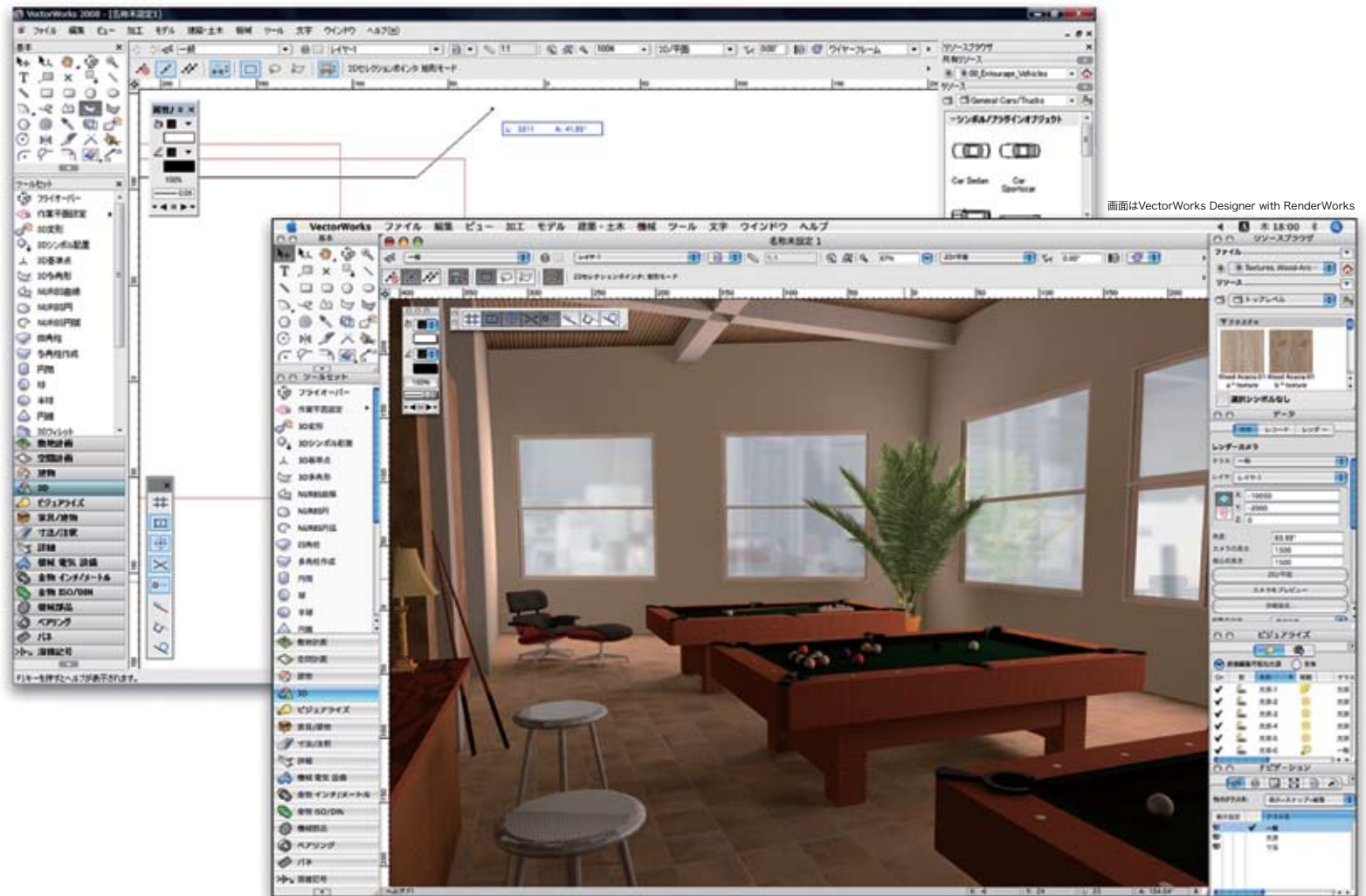
モードバーは新たにツールバーと名称を変更しました。従来のレンダリングなどの処理状況表示(ウィンドウ下部へ)や、「~を出す」ボタン(ウィンドウ内へ)などは表示せず、ツールのモード情報のみを表示します。

フローティングデータバー

[DR/D/FR/F]

これまでデータバーのみに表示されていた座標や距離、角度などの情報は、カーソル近くでのフローティング表示をはじめ、オプションによってデータバー、ツールバーなどに表示可能となりました。

デフォルトのフローティング表示では、目線をカーソルから離さずに座標、距離、角度指定が可能となりました。



2- 拡張されたオペレーションフィーリング

変更された拡張子

[DR/D/FR/F]

VectorWorksドキュメント拡張子は、これまでの「.mcd」から「.vwx」に変更されました。



2008.vwx

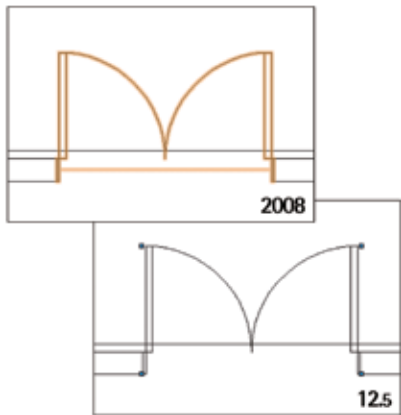


12.mcd

新たなオブジェクト選択時の強調表示

[DR/D/FR/F]

新たな強調表示機能は選択された単一図形の線分や、ワイヤーフレームそのものを強調して表示、グループやシンボル図形は、アクティブポイント内側を強調して表示し、ワークフローを改善します。さらに強調色や表示効果は環境設定で変更することが可能です。



回転可能な2D平面

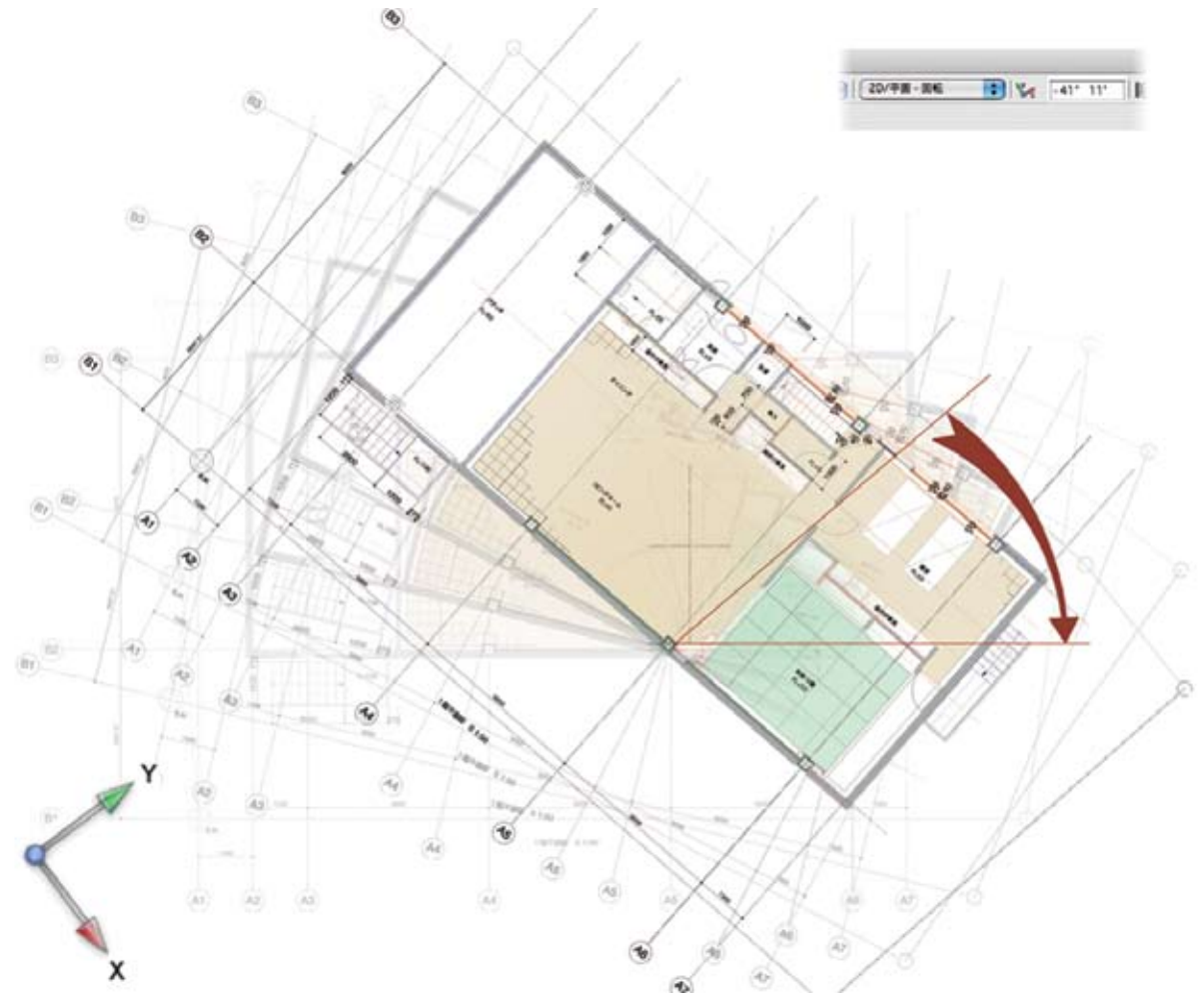
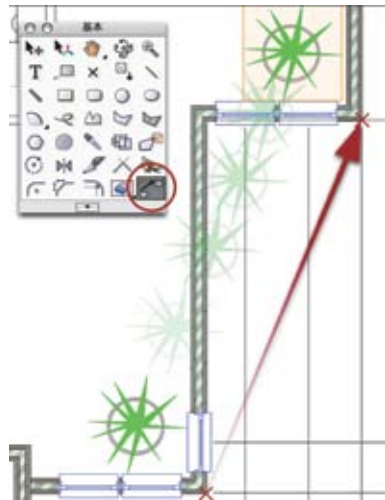
[DR/D]

2Dの平面をそのまま回転できるようになりました。任意の角度または、マウス操作によって2D図面が作図された平面を回転できます。回転させた平面状態は登録画面としても保存することが可能です。

ポイント間複製ツール

[DR/D/FR/F]

これまで図形をマウス操作によって移動/複製させる場合には、決められた基点のみからしかできませんでした。新しいこのツールによって、任意の点を基点に図形を移動または、複製することが可能となりました。



3Dビュー変更時の図形中心オプション

[DR/D/FR/F]

3D編集時にビューを「斜め右」から「斜め左」、「前」など変更することは多くありますが、原点から離れた図形を編集している場合は、わざわざ縮小表示させる必要がありました。新たに環境設定に加わった「ビュー変更時に図形を中心に表示」オプションによって、選択した図形を中心にビューを変更させることが可能になりました。

レイヤリンクのトリミング機能

[FR/F]

レイヤリンクの図形は、ビューポートと同じようにトリミングすることができるようになりました。これにより、レイヤリンクの一部だけを表示させることが可能になり、またリンク図形に対して枠を付加させることができます。

デザインレイヤビューポート

[DR/D]

シートレイヤでしか作成できなかったビューポートを、デザインレイヤ上で作成できるようになりました。旧バージョンファイル等にあるレイヤリンク図形は、Designer製品では自動的にデザインレイヤビューポートに置き換わります。

自由になったマーカースタイル [DR/D/FR/F]

デフォルトのマーカースタイルは7種類から、14種類に拡張されました。さらに、マーカ編集ダイアログが全く新しくなり、組み合わせによって作成できるマーカの種類は180を超えます。



特定図形を編集コマンド [DR/D]

図形選択マクロコマンドでは、共通する条件の図形を選択することはできませんが、共通する要素を変更することはできませんでした。特定図形を編集コマンドでは同様の手順で選択後、共通する項目を一度に編集することが可能です。もちろんコマンドとして作成することもできます。



距離による伸縮 [DR/D/FR/F]

伸縮コマンドには、新たに距離による伸縮オプションが追加されました。従来、倍率による伸縮しかできませんでしたが、このオプションによって任意の長さから、指定した長さへ伸縮することが可能となります。

鋼材断面ツールの 日本工業規格(JIS)への対応 [DR/D]

鋼材断面ツールは、日本仕様の鋼材規格に対応しました。H形鋼をはじめ、T形、I形など、配置後のデータバレットで変更できます。



Windowsでも可能になったレイヤ透過設定とアンチエイリアス [DR/D/FR/F]

Mac版でのみ提供されていた不透明度設定が、Windows環境でも実現しました。環境設定に追加された「GDIを使用」オプションによって、Macと同様に透過表現が可能になりました。また、アンチエイリアスオプションも同様に追加されました。

3Dマウス、 SpaceNavigator™のサポート [DR/D/FR/F]

VectorWorksは、革新的な3Dマウス、3Dコネクション、インク。のSpaceNavigator™をサポートしました。マウスだけでは体感できない3D空間のナビゲーションを実現します。



オブジェクトごとの不透明度設定 [DR/D/FR/F]

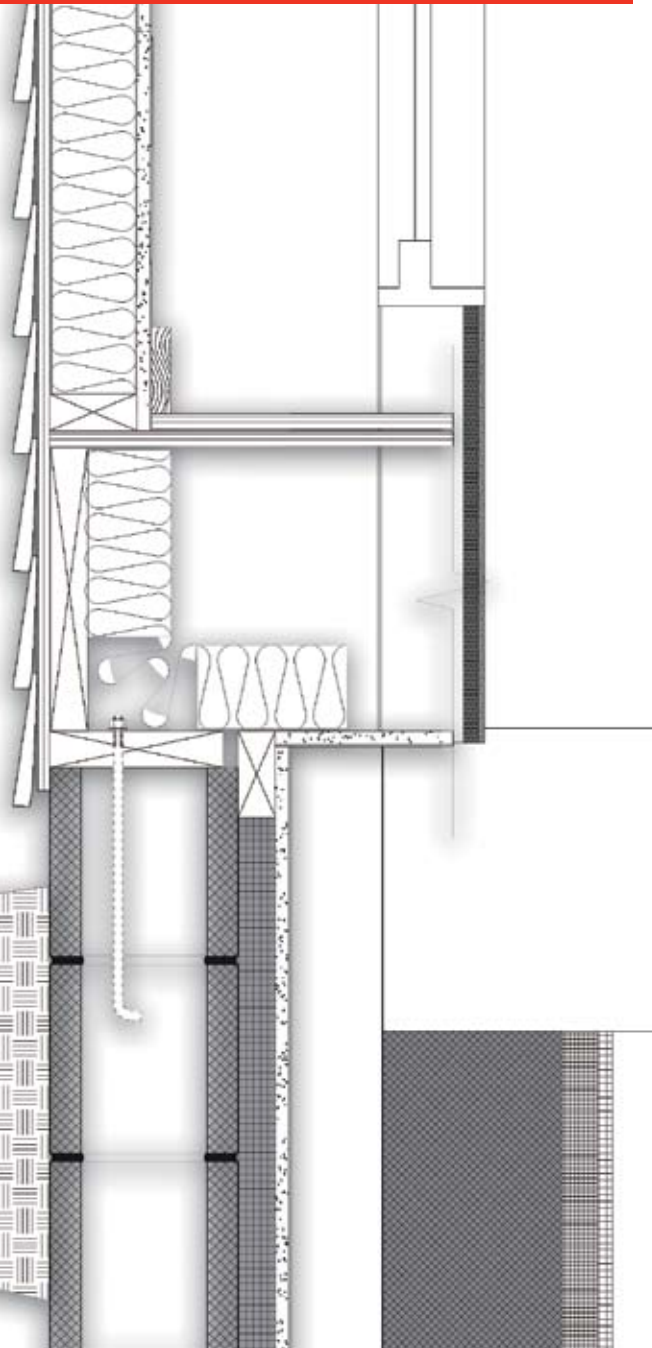
Mac/Windows共にオブジェクトごとの透過表現設定が可能です。QuartzおよびGDIオプション設定時に、有効となります。

グレイ表示レイヤ/クラスの出力濃度設定 [DR/D/FR/F]

グレイで表示されているレイヤ/クラス図形を印刷時に濃度コントロールできるようになりました。表示よりも濃く、薄く印刷するかをパーセント数値で指定できます。



3- 見直された各ツール / コマンド



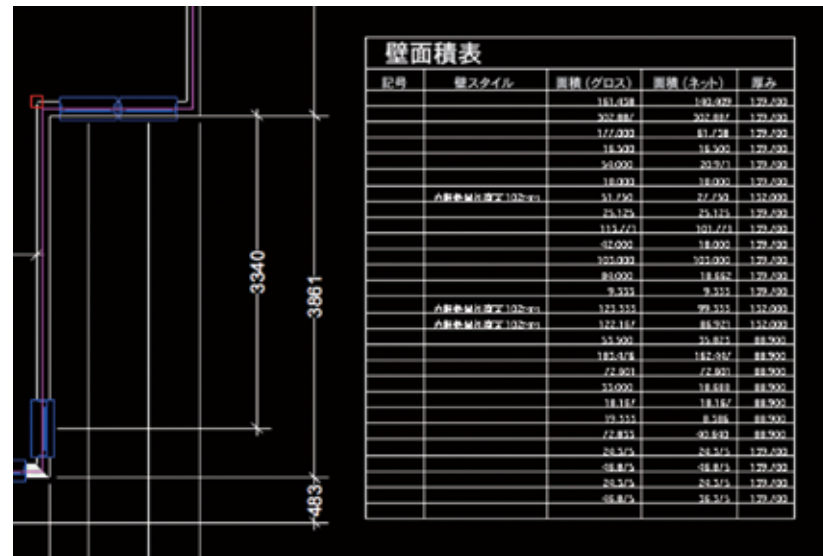
バス複製の強化 [DR/D/FR/F]

バス複製ツールは、メニューコマンドへ変更され、より使い易いようにダイアログが改良されました。



壁挿入シンボルの複数編集 [DR/D/FR/F]

壁に挿入された複数のシンボルを選択し、移動や編集ができるようになりました。これまで壁に挿入されたドアなどを、複数選択することもできませんでしたが、2008では複数を選択し、データパレットで共通する情報の一部を変更することができます。



DWG/DXFに取り出し可能 となったワークシート [DR/D/FR/F]

待望のDWG/DXFへのワークシート図形取り出しが可能になりました。これまでのように、図面とワークシートを別々に取り出し、受け渡し先側のCADで一つにまとめる必要はありません。

ビューポート内の レイヤ表示機能の拡張 [DR/D/FR/F]

ビューポートでのレイヤ表示を独立してコントロールすることが可能になりました。表示/隠すダイアログによって、それぞれのレイヤの色、前後関係、不透明度などを設定可能です。

DWG/DXF取り込み時の レイヤ名前記号オプション [DR/D/FR/F]

VectorWorksのレイヤ/クラスと識別しやすくするために、取り込むDWG/DXFのレイヤ名に前記号を入力できるようオプションが追加されました。

断面ビューポートの拡張 [DR/D]

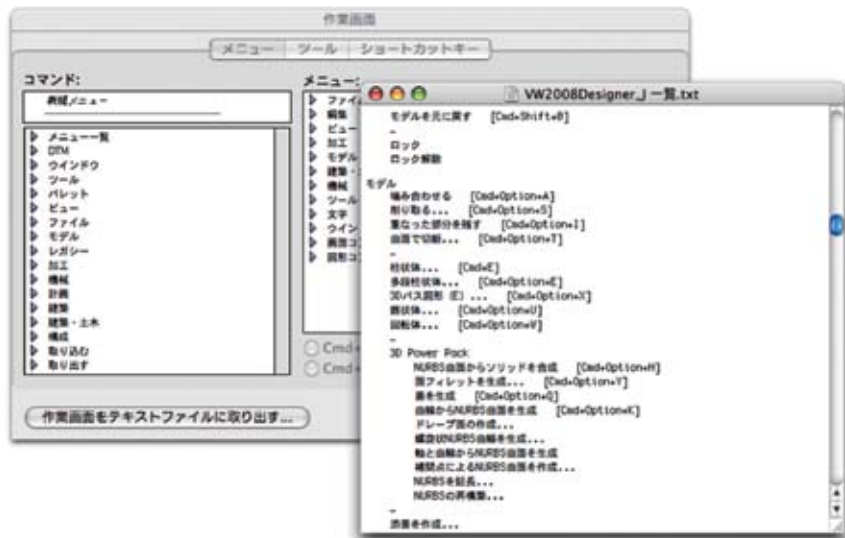
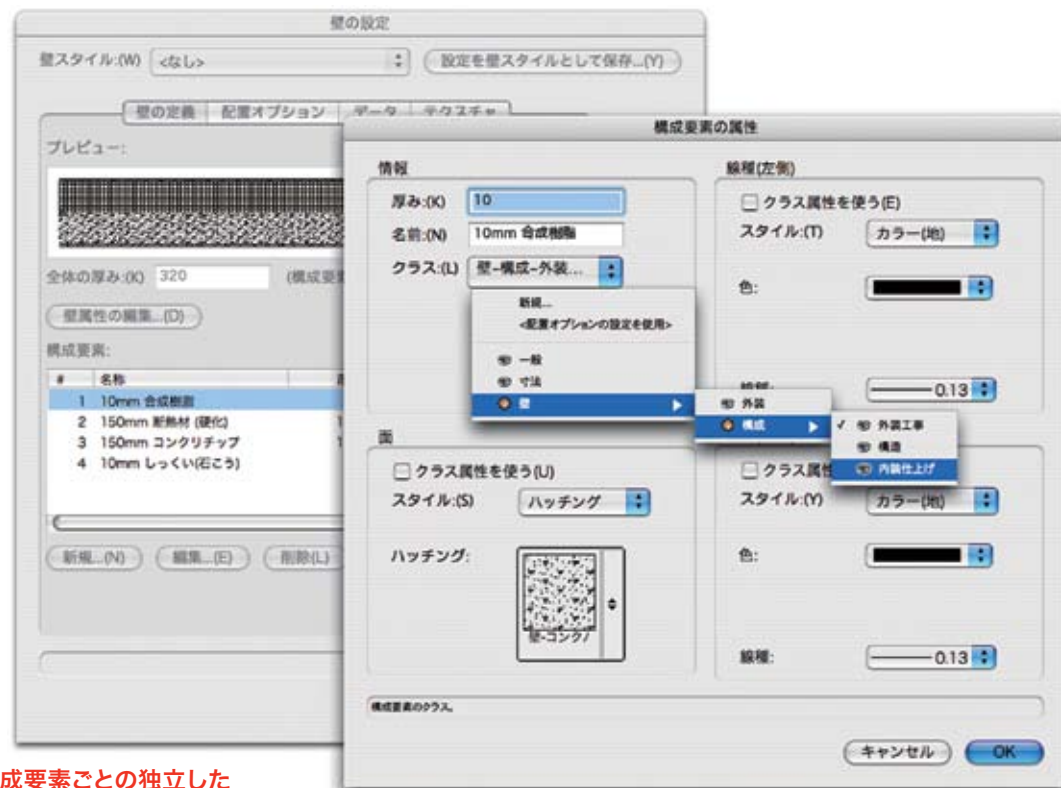
断面ビューポートには、解像度を独立して設定できるよう詳細プロパティにオプションが追加されました。また、壁構成要素を表示させるためのオプションも搭載しました。断面表現であっても2D図面と同様の表現が可能です。

**Win/Mac共通の
作業画面ファイル形式
[DR/D/FR/F]**

作業画面ファイルは、プラットフォームに依存しないXML形式に変更されました。また、ツールとメニューの情報がキャッシュされるようになり、起動や作業画面の切り替えなどの処理速度が向上しました。

**テキスト一覧書き出しが
可能となった作業画面
[DR/D/FR/F]**

作業画面の編集ダイアログには、テキストファイルに取り出すボタンが追加されました。この機能によってカスタマイズした作業画面や、キーボードショートカットを印刷して確認することができるようになりました。

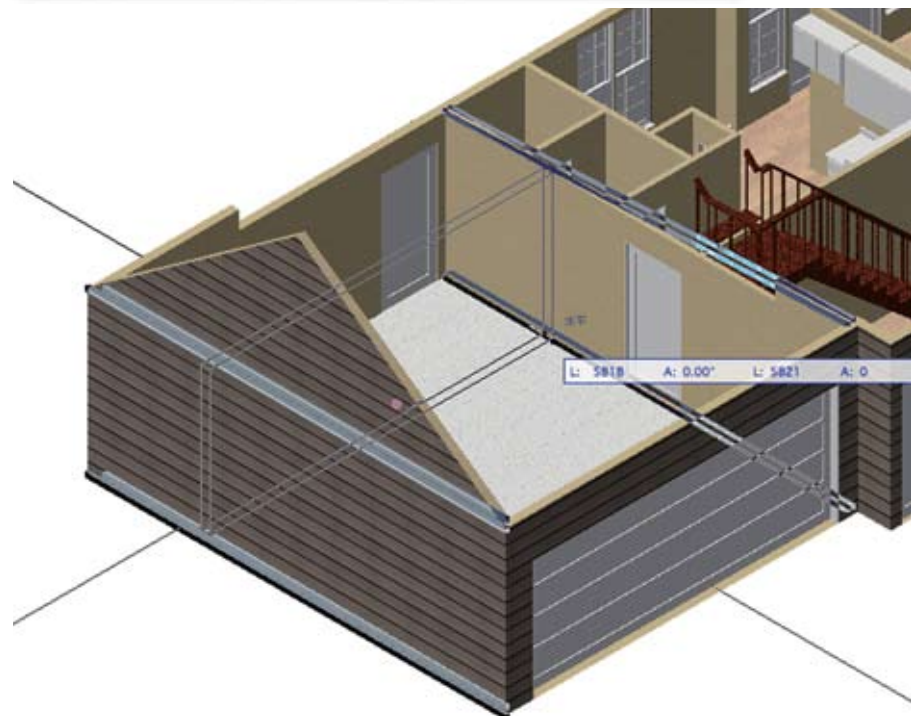


**壁構成要素ごとの独立した
クラス設定
[DR/D/FR/F]**

壁構成要素には、個別に名前とクラス属性の割り当てができるようになりました。これにより、同じ構成をもった壁であっても、クラス側の面と線設定などによって別々の壁表現することが可能となります。

**3Dビュー状態でも可能となった
壁作図と編集
[DR/D/FR/F]**

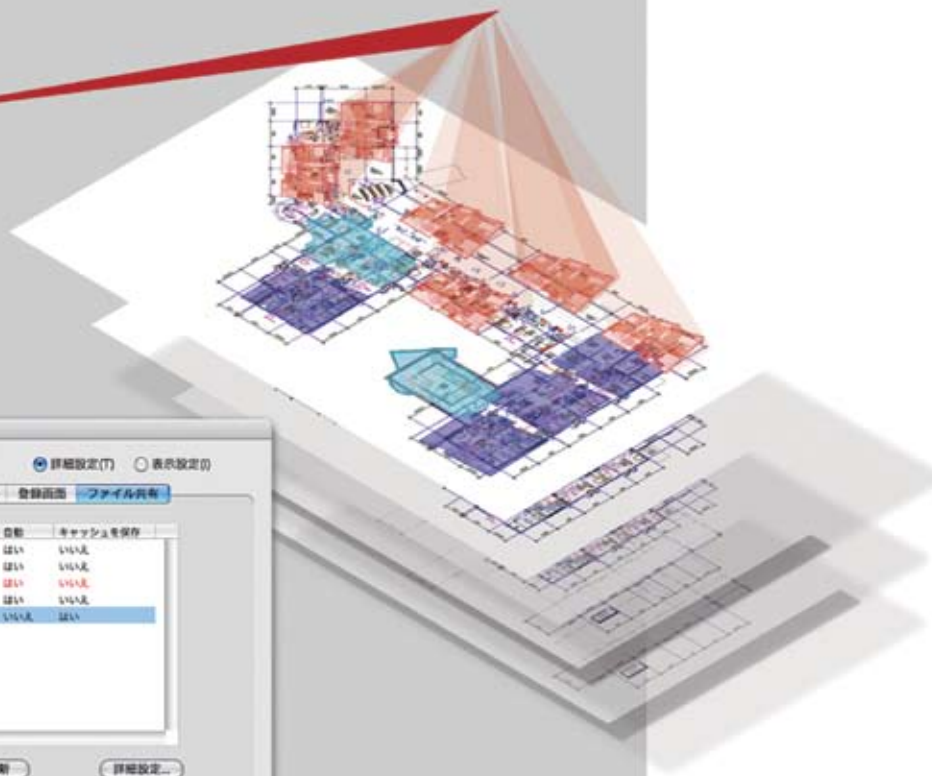
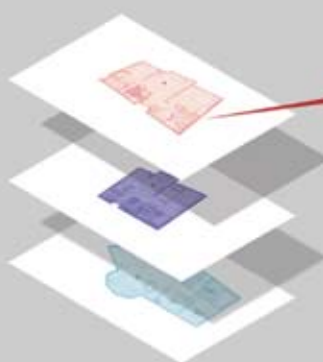
3Dビュー状態で壁の作図しようとすると、2Dビューに変更されていたのですが、2008では3Dビューのまま作図や編集、結合、オブジェクトの挿入が可能となりました。



4- 向上したデザインマネージメント機能

参照元ファイル

編集ファイル



ワークグループ機能の拡張-1.

[DR/D/FR/F]

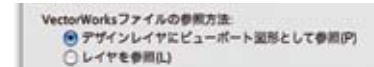
ファイル共有の機能が強化されました。オーガナイザで集中的に共有ファイルを管理できるようになり、指定した時間間隔で参照先のファイルの変更をチェックし、その状況をオーガナイザに表示します。



ワークグループ機能の拡張-2.

[DR/D]

Designerでは、オーガナイザでの集中管理機能等に加えて、イメージファイルとPDFファイルを参照できるようになりました。さらに参照ファイルをデザインレイヤビューポートとして複数作成することができ、まるでシンボルのように位置、角度などを個々に変更することが可能です。レイヤとクラスを個別ビューポートごとに表示設定することも可能です。



デザインプロジェクト マネージメント機能-1.

[DR/D/FR/F]

環境設定にユーザフォルダタブが追加されました。指定したフォルダにカスタマイズした作業画面や各種設定などを保存し利用できるようになりました。

デザインプロジェクト マネージメント機能-2.

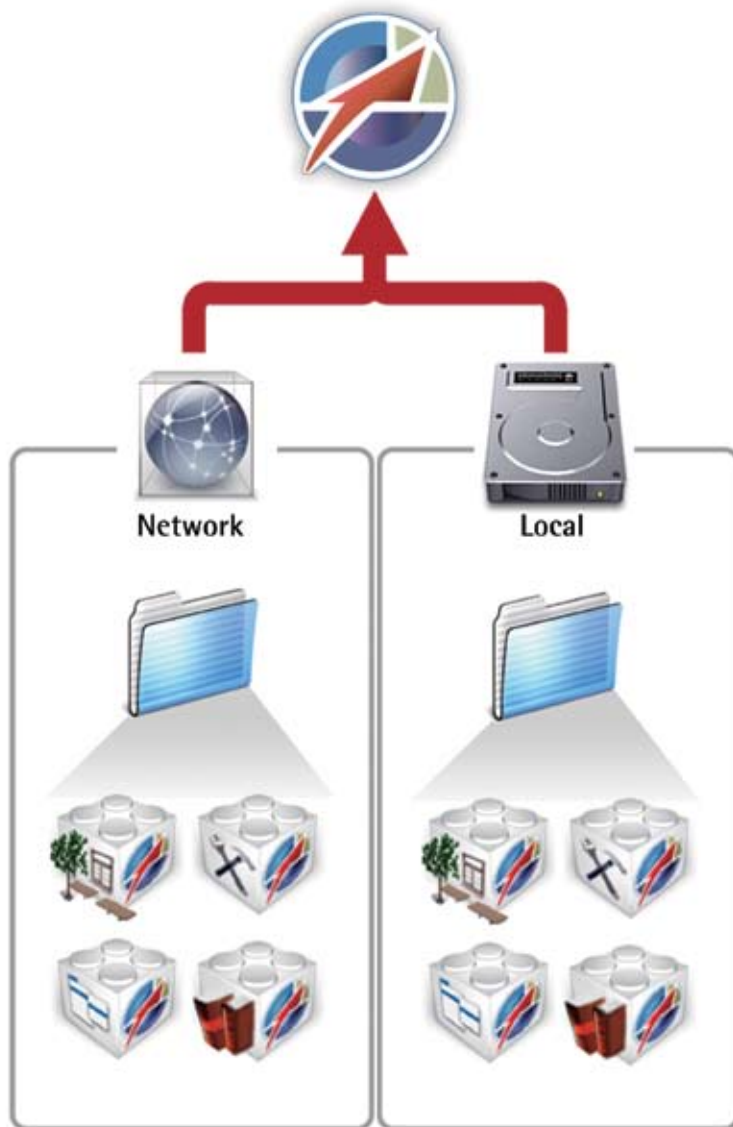
[DR/D]

Designerでは、設定フォルダを複数用意できます。例えば社内で共有しているネットワークドライブに用意した設定フォルダを登録し、VectorWorksの環境を共有できます。

イメージベースリソースの 再利用

[DR/D/FR/F]

イメージを利用したリソースがファイル内に存在する場合、新たにイメージリソースを作成する時にベースリソースの候補として再利用されるようになりました。また、RenderWorksを使用している場合、テクスチャ、添景、背景等でも再利用されます。



リソース取り出しの拡張

[DR/D]

リソースブラウザから複数のリソースをまとめて、取り出すことが可能となりました。また、他のファイルに書き出す際、保存する必要がなくなりました。

リソースブラウザの改良

[DR/D/FR/F]

リソースブラウザにホームボタンと上階層に戻るボタンが追加され、リソースファイル参照時、ダイレクトに上階層やアクティブファイルへ戻ることが可能になりました。

双方向ワークシート

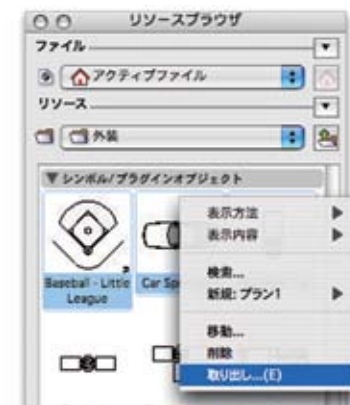
[DR/D]

部材一覧表作成機能などで集計されたオブジェクトのパラメータを、ワークシートセルから直接変更が可能になりました。

自動保存の拡張

[DR/D/FR/F]

自動保存設定が新しいタブに移動し、ネットワークドライブを含む任意の場所に、複数のバックアップコピーを設定できるようになりました。さらにバックアップコピーファイル名には日時がスタンプされます。



5- 驚くようなプレゼンテーション

制限のないカラーパレット [DR/D/FR/F]

2008より制限なく自由にカラーを利用することができるようになりました。VectorWorksに搭載されたカラーパレットとは異なる色を利用した場合は、OSが持つカラーピッカーによって自由に色を選択できます。



PANTONE®、Benjamin-Moor®等のカラーパレット [DR/D]

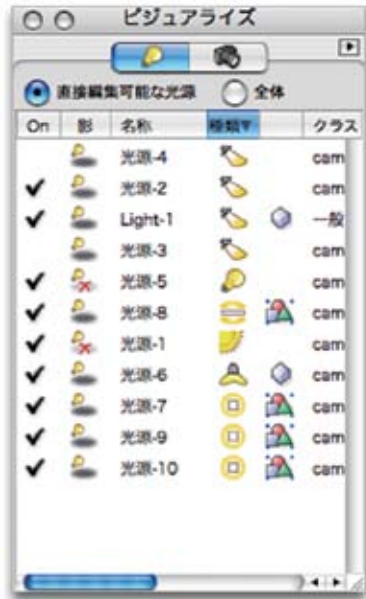
PANTONEをはじめとするカラーメーカー6社のカラーパレットを搭載しました。これらの豊富なカラーパレットは、属性パレットカラーから直接カラーマネージャーにアクセスし利用することができます。これらのカラーは色を使用するほぼ全ての機能で利用できます。

- PANTONE® :
 - PASTEL coated
 - PASTEL uncoated
 - SOLID coated
 - SOLID uncoated
 - Goe™ coated
 - PAINTS + INT
- BenjaminMoore® :
 - America's Colors
 - Classic Colors
 - Color Preview
 - Historical Colors
 - Off White Colors
 - Ready-Mixed Colors
 - Color Samples
- SherwinWilliams® Colors等



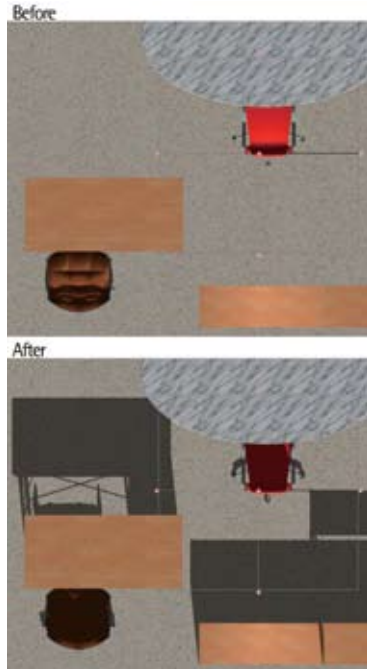
**光源とカメラを制御する
ビジュアライズパレットの搭載
[DR/FR]**

RenderWorksには、新たにビジュアライズパレットが搭載されました。光源とレンダーカメラを制御できます。光源ごとのON/OFFに加え新規で光源/カメラを作成でき、ビジュアライズツールセットを利用せず素早くパース制作が可能になります。



**OpenGLレンダリングでの
3つの拡張
[DR/FR]**

RenderWorksでは、OpenGL設定に影オプション、輪郭線オプションが追加されました。これまで以上に、モデルの状態が分り易く表現されます。これらのオプションに加えて単色/二色/イメージの背景テクスチャが適用できるようになりました。



courtesy of Astelier Architectural Group
Delmar Cux Architect

**バンプシェーダーの搭載
[DR/FR]**

新たに加わったバンプシェーダーは、オーク、メープルなどの床材をはじめ30種類にもなります。



**ビューポートレンダリングでの
バックグラウンドと輪郭設定
[DR/D/FR/F]**

ビューポートでのレンダリングでは、バックグラウンドと輪郭のレンダリングを別々に指定できるようになりました。バックグラウンドをOpenGLで、輪郭を陰線除去でレンダリングするなど多彩なレンダリング表現が可能になりました。Designerでは、この輪郭設定でスケッチを選択することもできます。

**ファイナルギャザー
レンダリングオプションの搭載
[DR/FR]**

レンダリングに新たな力が加わりました。ファイナルギャザーは乱反射を個別に計算せず、中間の光強度に対し、一定の強度一つだけを利用して計算を行うレンダリングオプションです。RWカスタム/ラジオシティカスタムで利用でき、ラジオシティやHDRのレンダリング時間を短縮できる手法の一つともなります。

6- 充実したデザインリソース

Herman Miller®の 家具コレクション

[DR/D]

イームズをはじめ、世界的に著名な家具ブランドであるハーマンミラー社のコレクションが加わりました。インテリア家具に加え、オフィス家具のライブラリを搭載しています。

- 総数：536
 - 家具類：スタンディング家具：26
 - 家具類：椅子等：43
 - オフィス家具：セット：98
 - オフィス家具：パーツ：369



クラシック家具のライブラリ

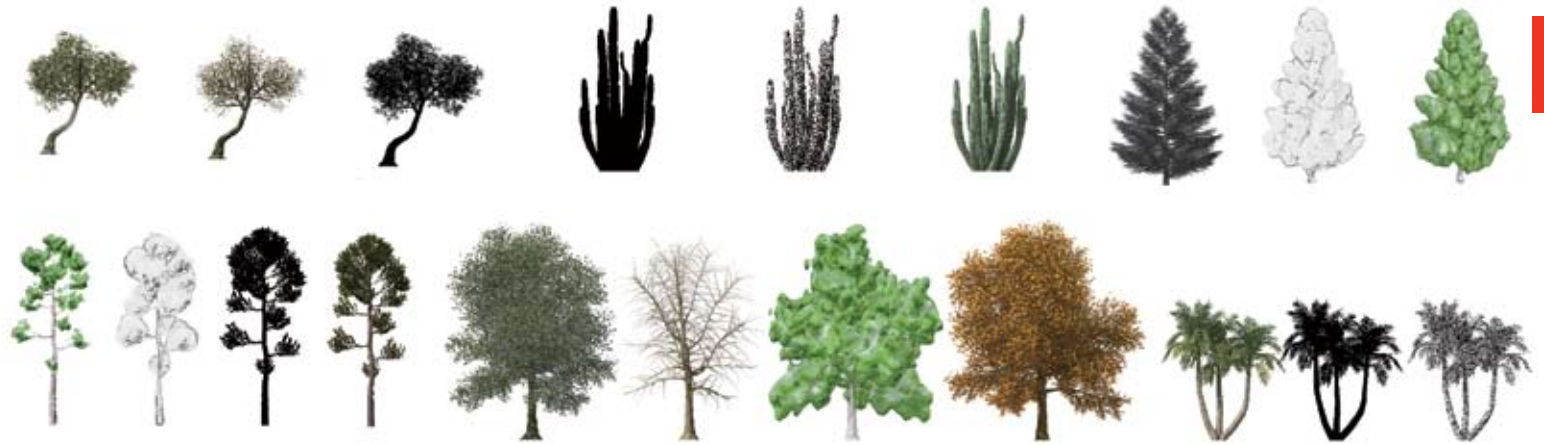
[DR/D]

舞台演出などに適したクラシックインテリアコレクションを搭載しました。

さまざまなタイプの椅子、ランプ、テーブル、ソファなどが、より味のある世界を演出します。

- 総数：49
 - 椅子：15
 - 照明器具：12
 - 書斎机：4
 - ロッカー/壺等：8
 - ソファ：3
 - テーブル：7





Sub-Zero®、Wolf®の 厨房器具ライブラリ

[DR/D]

Sub-Zero社とWolf社は世界有数の高級厨房器具メーカーです。搭載された25種類のSub-Zero冷蔵庫と55種類のWolf家電で、店舗厨房や高級キッチンを再現できます。

- 総数：98
 - Sub-Zero
 - ビルトイン冷蔵庫：21
 - 冷蔵庫：13
 - カウンター冷蔵庫：5
 - Wolf
 - ビルトインオープン：3
 - 電子レンジ：3
 - レンジフード：25
 - IHコンロ：5
 - 卓上形ガスレンジ：5
 - ガスレンジ：9
 - 卓上型コンロ：5
 - その他：4

Xfrog®植栽ライブラリの アップデート

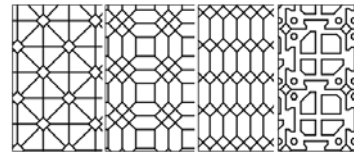
[DR/D]

Xfrog社のライブラリに、652種類の新しいカラーイメージが追加されました。この中には84種類の新たな植栽とそのイメージ166種類が含まれており、水彩タッチに加工されています。

Unilock®の舗装ハッチング パターン

[DR/D]

Unilock社の舗装ハッチングライブラリを搭載しました。185種類ものハッチングパターンを搭載しています。



オーディオ関連 シンボルライブラリ

[DR/D]

舞台設計用に、ドラムセットやマイクスタンドなど汎用的なオーディオ関連シンボルを搭載しました。

- 総数：44
 - ドラム：10
 - 指揮者台：4
 - スタンド類：15
 - 譜面台：2
 - ピアノ：3
 - スピーカー類：10



Forbo®フローリングの アップデート

[DR/FR]

ForboのフローリングライブラリにArtleum製品シリーズの床テクスチャ/イメージが追加されました。

arcitex®のウッドテクスチャ

[DR/FR]

arcitexのさまざまな木目イメージとテクスチャを搭載しました。



VectorWorks What's New

7

VectorWorks2008新機能一覧

	DR	D	FR	F
際立つ新インターフェイス				
モダンアイコン	✓	✓	✓	✓
表示バー	✓	✓	✓	✓
ツールバー	✓	✓	✓	✓
フローティングデータバー	✓	✓	✓	✓
メッセージバー	✓	✓	✓	✓
拡張されたコンテキストメニュー	✓	✓	✓	✓
拡張されたオペレーションフィードバック				
変更された拡張子	✓	✓	✓	✓
新たなオブジェクト選択時の強調表示	✓	✓	✓	✓
回転可能な2D平面	✓	✓		
ポイント間複製ツール	✓	✓	✓	✓
3Dビュー変更時の図形中心オプション	✓	✓	✓	✓
レイヤリンクのトリミング機能			✓	✓
デザインレイヤビューポート	✓	✓		
自由になったマーカースタイル	✓	✓	✓	✓
特定図形を編集コマンド	✓	✓		
距離による伸縮	✓	✓	✓	✓
鋼材断面ツールの日本工業規格(JIS)への対応	✓	✓		
透過設定が可能となるWindowのGDIオプション	✓	✓	✓	✓
3Dマウス、SpaceNavigator™のサポート	✓	✓	✓	✓
オブジェクトごとの不透明度設定	✓	✓	✓	✓
グレイ表示レイヤ/クラスの出力濃度設定	✓	✓	✓	✓
新しい曲線の編集コマンド	✓	✓	✓	✓
ツールの設定保存	✓	✓	✓	✓
IFCファイルのサポート	✓	✓		
	DR	D	FR	F

	DR	D	FR	F
ビューポート内のレイヤ重なり順機能	✓	✓	✓	✓
ビューポートの白黒表示設定	✓	✓	✓	✓
スタックレイヤビューの保存	✓	✓		
新たな植栽データベースの搭載	✓	✓		
仮想壁スタイルの搭載	✓	✓		
新たな2D/3D軸ツール	✓	✓		
ブリーツールの搭載	✓	✓		
ギャラックツールの搭載	✓	✓		
PDF取り出しのブックマークサポート	✓	✓		
GIS系ジオリファレンスイメージファイルのサポート	✓	✓		
SketchUp6ファイルの取り込み対応	✓	✓		
DWG、DXFの2007/2008形式サポート	✓	✓	✓	✓
見直された各ツール/コマンド				
パス複製の強化	✓	✓	✓	✓
壁挿入シンボルの複数編集	✓	✓	✓	✓
DWG/DXFに取り出し可能となったワークシート	✓	✓	✓	✓
DWG/DXF取り込み時のレイヤ名前記号オプション	✓	✓	✓	✓
ビューポート内のレイヤ表示機能の拡張	✓	✓	✓	✓
断面ビューポートの拡張	✓	✓		
Win/Mac共通の作業画面ファイル形式	✓	✓	✓	✓
テキスト一覧書き出しが可能となった作業画面	✓	✓	✓	✓
壁構成要素ごとの独立したクラス設定	✓	✓	✓	✓
3Dビュー状態でも可能となった壁作図と編集	✓	✓	✓	✓
セレクションポイントツールの改良	✓	✓	✓	✓
2D変形ツールの改良	✓	✓	✓	✓
数値設定可能な破線の間隔コマンド	✓	✓	✓	✓
	DR	D	FR	F

	DR	D	FR	F
多角形/円モードが追加された消しゴムツール	✓	✓	✓	✓
タイルコマンドへのグループ変換オプション	✓	✓		
外壁の採寸コマンドの改良	✓	✓		
スペース(旧空間)ツールの改良	✓	✓		
シートレイヤ内ビューポート編集時表示の向上	✓	✓	✓	✓
壁スタイルの置き換え機能の拡張	✓	✓		
壁からスペースを作成機能の拡張	✓	✓		
階段の2D表現の新たなオプション	✓	✓		
回転モードが追加された文字ツール	✓	✓	✓	✓
円ツールから独立した長円ツール	✓	✓	✓	✓
斜め作図が可能になった四角形、隅丸四角形ツール	✓	✓	✓	✓
レンダービットマップツールの拡張	✓		✓	
向上したデザインマネージメント機能				
ワークグループ機能の拡張	✓	✓	✓	✓
デザインプロジェクトマネージメント機能	✓	✓	✓	✓
イメージベースリソースの再利用	✓	✓	✓	✓
リソース取り出しの拡張	✓	✓		
双方向ワークシート	✓	✓		
自動保存の拡張	✓	✓	✓	✓
リソースブラウザの改良	✓	✓	✓	✓
驚くようなプレゼンテーション				
制限のないカラーパレット	✓	✓	✓	✓
PANTONE®、Benjamin-Moore®等のカラーパレット	✓	✓		
光源とカメラを制御するビジュアライズパレットの搭載	✓		✓	
OpenGLレンダリングでの影オプション	✓		✓	
OpenGLレンダリングでの輪郭線オプション	✓		✓	
	DR	D	FR	F

	DR	D	FR	F
OpenGLレンダリングでの背景表示サポート	✓		✓	
バンプシェーダーの搭載	✓		✓	
ビューポートレンダリングでのバックグラウンドと輪郭設定	✓	✓	✓	✓
ファイナルギャザーレンダリングオプションの搭載	✓		✓	
充実したデザインリソース				
Herman Miller®の家具コレクション	✓	✓		
クラシック家具のライブラリ	✓	✓		
Sub-Zero®、Wolf®の厨房器具ライブラリ	✓	✓		
Xfrog®植栽ライブラリのアップデート	✓	✓		
Unilock®の舗装ハッチングパターン	✓	✓		
オーディオ関連シンボルライブラリ	✓	✓		
GOBOLAND®のGoboテクスチャ	✓	✓		
Forbo®フローリングのアップデート	✓		✓	
arcitex®のウッドテクスチャ	✓		✓	
Marvin®窓・ドアライブラリのアップデート	✓	✓		
	DR	D	FR	F

その他にも

VectorWorks2008のすばらしい新機能について、もっと知って下さい。
実際の動作はこちらからご覧頂けます。

<http://www.aanda.co.jp/2008up/>

What's New

動作環境

MacOS 10.4.10 ,10.4.11 ,10.5.0 ,10.5.1

- QuickTime 6.5.2以上
- PowerPC G4以上またはIntelプロセッサ
- DVD-ROMドライブ

Windows XP SP2 ,Windows Vista

- QuickTime 6.5.2 ~ 7.2
- Pentium 4以上
- DVD-ROMドライブ

VectorWorks Designer with RenderWorks 2008

- メモリ 2GB以上
- HD容量 6GB以上の空き

VectorWorks Designer 2008

- メモリ 1GB以上
- HD容量 6GB以上の空き

VectorWorks Fundamentals with RenderWorks 2008

- メモリ 2GB以上
- HD容量 4GB以上の空き

VectorWorks Fundamentals 2008

- メモリ 1GB以上
- HD容量 4GB以上の空き



お問い合わせ
VectorWorks 日本語版 開発販売元
エーアンドエー株式会社

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-3-15
TEL : 03-3518-0131
FAX : 03-3518-0122
E-mail : market@aanda.co.jp
<http://www.aanda.co.jp>